

学校教育目標

主体的に取り組む生徒・対話を通し他と協働する生徒

校訓

夢に輝く
岩切中学校

学び合い

認め合い

高め合い

目指す生徒像

～夢の実現のために～

想像力豊かで
自ら学ぶ生徒
＜楽しくなる＞

思いやりに富み
明朗な生徒
＜うれしくなる＞

活力に満ちた
しなやかな生徒
＜光り輝く＞

目指す教師の姿

～生徒の夢の実現のために～

豊かで想像力を持
ち自ら学ぶ生徒を
育む職員

研修に励み協力し
て情熱を持って取
り組む職員

保護者・地域と共に経
験・知恵を伝承し地域に
貢献する職員

協働型学校評価

到達目標

主体的に物事に取り組もうとする生徒の育成

重点目標

- 学校や家庭・地域の中で自ら進んで挨拶や受け答えのできる生徒の割合を90%以上
- 自ら学習に取り組む生徒の割合を70%以上

学校では

- 生徒会や学年委員会等の生徒の組織への働きを行い、積極的な挨拶の定着を目指す。
- 外部への広報を行い、地域一体となって積極的な挨拶を推進する。
- 対話による授業展開を中心に、主体的な学習への取組を醸成する。

家庭では

- 保護者自身が挨拶を垂範し、生徒の良きモデルとなる。
- PTA主催の挨拶運動に参加し、生徒の挨拶の習慣化を図る。
- 子どもとの対話を通し、子どもの考えや実践を支援する。

地域では

- 地域住民が挨拶を垂範し、生徒の良きモデルとなる。
- 町内会行事等において生徒との対話を通して、生徒に地域の一員としての自覚を醸成する。

本年度の重点事項

スローガン

「夢～対話と実践～」

(1) 全ての教育活動で「自己肯定感」「自己有用感」を高める取組

- ・「目標→課題→実践→承認→振り返り・新たな目標→課題…」のサイクルを全ての教育活動で意図的に実践
- ・PDCAサイクルによる教育活動の見直し

(2) リーダーの育成と自律した集団づくり

- ・生徒会活動や各行事の取組を通じたリーダーの育成
- ・全ての教育活動の中で「主体的な活動」の推進
- ・校内ボランティアの積極的な活動
- ・親和的な集団づくりの推進
- ・生徒相互の人間関係づくりと、生徒と教職員の信頼関係づくりの推進
- ・グループワークの効果的な活用と、心理的交流の促進、スキルの定着化の工夫

(3) 「たくましく」「しなやかで」「自立した」生徒の育成

- ・積極的なあいさつのできる生徒と教職員
- ・道徳の実践研究
- ・生命を大切にする心と思いやりの心を育む指導の充実
- ・いじめを許さない雰囲気づくり
- ・いじめの定義、「無自覚ないじめ」の理解の促進
- ・いじめを「成長のチャンス」ととらえた指導・支援
- ・生徒の「居場所づくり」、教室外での学びの充実
- ・組織的な対応・指導の徹底

(4) 生徒一人一人に応じた学習支援

- ・対話的な活動を取り入れた授業改善
- ・生徒及び教職員による学びの短期的な振り返り
- ・ICTを活用した授業の実践
- ・家庭学習の充実、家庭との連携や働きかけの工夫

(5) 常に初心に戻る危機管理意識と生徒指導力

- ・コンプライアンスの意識を常に高く持った教職員
- ・ネット利用についての家庭管理、自己管理の働きかけと指導
- ・「アセスメント会議」による指導・支援の工夫と教職員の研修
- ・防災教育の充実（自助・共助・公助の能力の育成）（1年「防災学習」、2年「防災マップ作り」、3年「AED研修」）

(6) 業務の効率化を意識した働き方改革

- ・計画的な業務遂行からの効率的な時間の使い方
- ・勤務外の生活の充実とライフ・ワークバランス
- ・積極的な年休取得
- ・火曜日 45分 7時間授業部活動なし水曜日 4時間授業の時間割による定時退勤の促進
- ・前年度踏襲にとられない積極的な「スクラップアンドビルド」
- ・常に「手段の目的化」になっていないかの振り返り